



右…教育学部規程制定の決裁書類
左…教育学部始業の地・
旧附属図書館（地階・2階）
（京都大学大学文書館所蔵）

京都大学教育学部創設 75 周年記念

「〈京大・教育〉のコシカタユクスエー名誉教授と考える」

日時：2024 年 9 月 8 日（日） 13 時 30 分～17 時 00 分

於：百周年時計台記念館 国際交流ホール I （オンライン併用）

※対面・オンラインともに右記QRコード（forum.kyoto2000@gmail.com：兼問い合わせ先）より
事前申込制、参加無料、一般来聴歓迎。（茶話会形式）



開会挨拶：南部広孝・教育学研究科副研究科長

第 I 部 京大教育学部の船出 —新制国立大学制度下の実態—

13 時 30 分～14 時 30 分

西山伸氏（京都大学大学文書館教授）

「教育学部設置をめぐるあれこれ —京大沿革史編纂の現場から—」

司会：田中智子（研究科教授）

『京都大学百年史』（全 7 巻、写真集）、そして『京都大学百二十五年史』（2022 年）をまとめて
こられた立場から、貴重資料を多面的に駆使し、新制京都大学における教育学部発足経緯の特質を
解説していただきます。

第 II 部 「京大教育学派」は形成されたか —学知としての戦後教育学史素描—

14 時 45 分～17 時 00 分

上杉孝實氏（1935 年生、1959 年学部卒、1978 年助教授着任、1996～98 年研究科長）

「社会教育講座の成立と変遷、その時代背景」

皇紀夫氏（1940 年生、1963 年学部卒、1988 年助教授着任、2002～03 年研究科長）

「臨床教育学講座発足の経緯とその展開」

司会：駒込武（研究科教授）

名誉教授のお二人をお招きし、大学院重点化前後における研究科長としてのご経験、当学部が長く
主管した関西教育学会の活動なども視野に収め、ご自身の学問の歩みを、それぞれが学び担われた
講座の歴史的変遷と意義に即して述懐していただきます。

閉会挨拶：西岡加名恵・教育学研究科副研究科長

「（京都大学教育学部は）哲学、心理学、社会学、法学など、多様な分野の出身者によって構成された・・・東京
大学教育学部が多数の教育学出身者によって占められたのと対照的である」（『京都大学教育学部 40 年記念誌』）
それはいかなる事態を招来したか、そして学術組織としての〈京大・教育〉の未来はいかに—— ともに考えましょう。